

【津】安田火災記念財団（本部・東京都・後藤康男理事長）は五日、NPO法人設立資金として、阿山郡伊賀町で活動する民間福祉団体「わたぼうし」（館忠藏代表）



障害者の  
自立支援

## NPO設立資金に

安田火災記念財団

に三十万円を贈呈した。同日、津市栄町の安田火災海上保険三重支店で贈呈式があり、同支店の岡雅宏業務部長が館代表に、助成決定通知書を手渡した。

式で岡業務部長は「一日も早く法人格を得して、特定非営利活動法人として社会福祉の向上に貢献してください」と激励。館代表は「法人化に向けて責任を感じます。有效地に使わせていただきます」と謝辞述べた。

【写真は岩岡業務部長（右）から通知書を受け取る館代表＝津市栄町三重支店で】

「わたぼうし」は、演劇など芸術を通した障害者の自立支援や、子育て支援、地域の高齢者の生

た。

劇など芸術を通した障害者の自立支援や、子育て支援、地域の高齢者の生



安田火災記念財団（理事長、後藤康男・安田火災海上保険会長）は十四日、健常者と障害者の交流グループ「出雲いきいきネットワーク」

安田火災記念財団 NPO設立助成金

安田火災記念財団

ーク」（出雲市今市町、増本雄一代表）に、特定非営利活動（NPO）法人の設立資金として三十万円を贈った。

同財團は昭和五十二年の設立以来、民間の社会福祉活動へ助成しており、昨年度からNPO法人の設立

支援を始めた。本年度は全国三百団体から申請があり、三百の団体に各三十万円の助成を決定。山陰西日本では同

ネットワークが選ばれた。

同日、安田火災海上保険

の吉岡健治・島根支店長が

訪問。「地域社会の福祉向

上に貢献してください」と

決定通知書を副代表の山本栄子さん（四〇）＝同市大津町

に手渡した。

山本さんは「一刻も早く

NPO法人を取得して期待

に沿う活動をしたい」と感

謝した。同ネットワークは

年度内の法人取得を目指

している。

安田火災島根支店の吉岡健治支店長から、NPO設立資金の助成決定書を受け取る出雲いきいきネットワークの山本栄子さん（四〇）

山本さんは「一刻も早くNPO法人を取得して期待に沿う活動をしたい」と感謝した。同ネットワークは年度内の法人取得を目指している。



□ 3団体に助成金贈る

佐賀市 安田火災記念財団（後藤康男理事長）は十八日、本年度助成団体に選んだ県内の三団体に助成金を贈った。（写真）

佐賀市神野東の同社佐賀支店で、本年度助成を受けたのは「中原たすけあいの会」（中原・平野中）、「ふくしまとひぐりの会」（佐賀市・土井信代表）、「全国IDM連絡協議会」（上井征幸代表）、「佐賀市・土井・平野中・中原町・平野中・上井・土井・中原町・平野中）の三団体に助成金を贈った。（写真）

NPO法人  
設立資金助成  
岡山から「じめいともに交流会」  
安田火災記念財団  
財団法人安田火災記念  
財団は、本年度の特定非  
営利活動法人（NPO法  
人）設立資金の助成団体  
百団体を決定した。岡山  
県関係では「（）どもどと  
もに交流会」（岡山市丸の  
内二丁目 NPO共同事  
務所内、佐々木正美代表）  
が選ばれた。助成額は三  
十万円。

■安田財団がNPO設立へ助成

安田火災記念財団の本年度社会福祉助成金の贈呈式が26日、熊本市の安田火災海上保険熊本支店であった。県内からは「在宅支援ゼネラルセンター ゼネッセ」（熊本市、田中良明代表）と「やつしろ配食サービスワーカーズ パセリ」（八代市、森下恵子代表）が選ばれ、檀原彰支店長が30万円の目録をそれぞれ手渡した。ゼネッセは、主に熊本市内の障害者やその家族に在宅でできる仕事をあっせんしている。パセリは八代郡市の高齢者に手作りの弁当を配達している。2団体は事業の安定・拡大を目的にNPO（非営利法人）の設立を目指している。

開。NPO法人化は九月を  
めどに準備している。  
安田火災記念財団のNPO  
法人設立資金助成は昨年  
から。今年は全国で二百五  
十七件の応募があり、審査  
の結果、百団体への資金助  
成を決めた。



NPO設立資金の助成決定通知書を飯田支店長から受けける宮崎21高齢者福祉研究会の沢田孝子副会長

安田火災記念財団が民間  
福祉団体へ民間非営利団体  
(NPO) 法人設立資金を  
贈る本県関係の贈呈式は二  
十七日、宮崎市の安田火災  
海上保険宮崎支店であっ  
た。資金を受けたのは同市  
支店長が資金の趣旨説明を  
した後、各代表に助成金  
(各三十万円) 決定通知書  
を手渡した。

はにわの会仲間の家は  
「障害者と共に生きる」を  
理念に一九八三(昭和五十  
九年)に立ち上げた。  
この会は、高齢者の健康な  
生活をめざして、地域社会  
に貢献する。高齢者の健康  
な生活をめざして、地域社会  
に貢献する。高齢者の健康  
な生活をめざして、地域社会  
に貢献する。

# NPO設立資金贈呈 記念財団 宮崎市の2団体へ

安田火災  
記念財団  
宮崎市の2団体へ

安田火災記念財団（有吉孝一理事長）の平成12年度社会福祉（NPO法人設立資金）助成贈呈式が21日、東京・新宿の安田火災本社43階で行われた。

障害者・高齢者福祉団体に対するNPO法人設立資

金助成が、この社会福祉助

成の狙いで、今年度は応募

があつた257件の中から

審査を経て、100件の助

成が決定している。選考に

新しくチャレンジするこ

した。また懇親会では、明

ちこちで見られた。

つ。安田火災とともに社会

福祉等に力を入れてきた。

NPO法人設立への資金助

成は今年で2回目になる。

助成先に対する専門家によ

る相談会を設けるなど幅広

い支援体制を敷き尽力して

いるが、今後一層の強化を

有吉理事長から決定通知書

の交付を受けた。

当たつた松尾武昌・全国社会福祉協議会常務理事は、  
①全国的に配分漏れがない

ころも盛り込んだ——など選  
考基準のあらましについて  
開示した。結局、全国10  
0団体に30万円ずつの助成  
が決まっているが、関東地

関東地区贈呈式でいざつ  
する有吉理事長（上）、車  
いまでの出席者も多く財団  
への期待は大きい（下）



安田火災記念財団

## NPO法人設立資金助成

# 100団体に3000万

つ。安田火災とともに社会  
福祉等に力を入れてきた。  
NPO法人設立への資金助

成は今年で2回目になる。  
助成先に対する専門家によ

る相談会を設けるなど幅広  
い支援体制を敷き尽力して  
いるが、今後一層の強化を  
有吉理事長から決定通知書  
の交付を受けた。